



あ 明けましておめでとうございます～2026年もよろしくお願ひします～

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

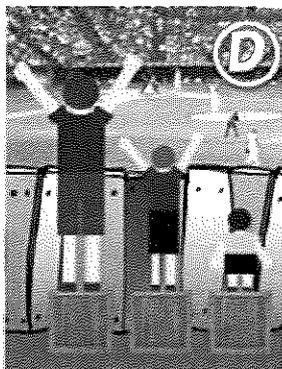
先日、DPIが主催する政策討論集会在、コロナ禍以降、対面形式で数年ぶりに開催されました。会場には呼吸器使用の方やストレッチャー式の車いす使用の方など、多くの重度障害の方が集われ、その熱気にあてられながら参加して参りました。特に最後のカリキュラムで話された「DEI」について、皆さんと共有させて頂きます。

DEIとはD:ダイバーシティ(多様性) E:エクイティ(公平性) I:インクルージョン(包括性)の頭文字を取った言葉で、多様性を受け入れ、個性と能力を活かすだけでなく、それぞれに合った機会を提供し、活躍できる公平な環境を作ることを示す言葉です。

近年、多様な人材を確保し企業の総合力を上げる為に使用されている言葉です。その多様な人材に障害者も当然含まれており、これまで障害者運動の中で示してきた考え方や深くリンクする為、今回のセミナーの中で取り上げられました。

下記のイメージ図からも分かるように…

D:異なる身長の人たちが E:異なる足台を準備し I:見たい物を一緒に楽しめる事を大切に
するというものです。自立生活運動で私達がこれまで発信してきた思いが分り易く表現されてお嬉しく思いました。今年も皆様と共に、改めて「DEI」を大切に活動して参ります。



今年もどうぞよろしく
お願ひいたします。

(理事長 鈴木 徳子)

じりつせいかつぶ
自立生活部

ねんとかみはんき7プラスアルファじぎょうほうこく
— 2025年度上半期 + α 事業報告 —

■協力員スキルアップ研修 (7月16日) 参加者6名

「バリアフリー法」と「東京都障害者情報コミュニケーション条例」の二つをテーマとし、協力員の皆さまを対象としたスキルアップ研修を開催しました。

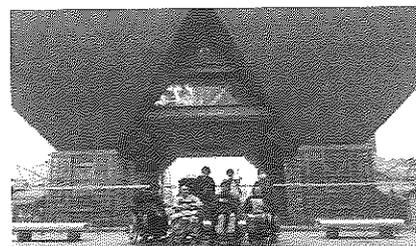
研修では、まず前半の時間で、2025年6月より改正されたバリアフリー法におけるバリアフリー基準について、CIL職員より主な変更点を説明しました。また、後半では、2025年7月より施行された東京都障害者情報コミュニケーション条例について、CIL職員より概要や目的を説明した後、「多様なコミュニケーション手段 (手話、点字、コミュニケーションボードなど) をこれまでどこで見かけたことがあるか、またどんな所にあつたらいいと思うか」というテーマで自由に意見を出し合うグループワークを行いました。

グループワークでは、参加者からこれまでの経験をもとにした様々な意見があがりました。

法律や条令という少し難しいテーマではありましたが、研修全体を通じ、参加者一人ひとりにそれぞれの視点から学びや考えを深めていただける時間となったのではないかと思います。(櫻井 未来)

■フィールドトリップ企画「ジャパンモビリティショー2025」を見に行こう! (10月31日) 参加者3名

久しぶりのお出かけ企画となるフィールドトリップは、自動車だけではなく、広範囲なモビリティに関する最新技術やサービスを見ることが出来るジャパンモビリティショーに行ってきました。



将来の乗り物の一つとして、車いすの進化型?!とも言える四つ足歩行の乗り物やマウンテンバイクの様な車いす等、段差や荒地を気にせず移動出来る夢のような乗り物の紹介もありました。是非次回、皆さんも一緒にいかがですか。(鈴木 徳子)

■「たちかわ楽市2025」に出店しました! (11月8日)

毎年恒例となっている「たちかわ楽市」ですが、今年も協力員の皆さんと力を合わせて昭和記念公園のゆめひろばに出店し、多くの来場者と交流を楽しむことができました。また、事前に協力員と打ち合わせ準備会を3回設け、企画の段階から話し合った結果、コーヒーやジュースの販売、得点に準じてお菓子がもらえるダーツゲーム、創作小物の販売を決めました。



当日は晴天にも恵まれ、たくさんの市民や仲間が訪れてくれました。この日に向けて準備した甲斐もあり、用意したものはすべて完売となりました。ダーツゲームもお菓子の景品がなくなるまで、たくさんの子どもたちに楽しんで頂きました。心より感謝申し上げます。

開店から閉店まで大盛況となり、数々のふれあいが記憶に残る出店となりました。(大石 幸治)

●その他、2025年4月から2025年9月までに開催したイベント・行事●

- ・ 出前講座 (五小、西砂小) ・ 協力員のためのプログラム (4月16日)
- ・ 協力員会議&交流会 (5月21日) ・ 協力員研修 (7月16日)

■おすすめスポット会議 (11月19日) 参加者15名

今回のおすすめスポットでは、立川療護園はごろもの音に入所・通所されている方の「外出したいけど、どんなところがあるのか？行きたいところに多目的トイレはあるの？いつも同じ場所ではなく新しい所にも行ってみたい」という声をきっかけに、協力員の皆さんと一緒にはごろもの音で打合せを行いました。



今まで協力員と取材してきたおすすめスポットの紹介と、はごろもの

音付近のカフェ、緑地を紹介させていただきました。協力員の方にもおすすめのポイントをインタビュー形式で話していただきました。また、はごろもの音の利用者さんにも普段出かける場所や、今回紹介した中で行ってみたい場所などを聞くことができました。次回は、参加者と決めた目的地であるはごろもの音付近のカフェに、再びはごろもの音の皆さんと共同で取材に行く予定です。(浅井 祐奈)

●知的事業

■プログラム「グランベリーパークに行こう！～グランベリーパークで遊ぼう！」(10月4日) 参加者5名

自立生活センター・立川の協力者となっている知的障害のある方にリーダー、サブリーダーを担って頂きお出かけプログラムを開催しました。参加者の方には、ただお2人についてだけでなく、自身も案内役を担当して頂きました。シナリオやガイド手旗をお渡しすると、リーダーや介助者のサポートを受けながら皆さんの先頭に立ち、頼もしく引っ張って下さいました。



リーダーの感想：みんなでお昼を食べたり、スヌーピーをさがしてパークを歩きました。

来年もみんなで、いいところがあれば行きたいと思っています。

参加者の感想：みんな仲がいいんだなと思った。また参加できたらよろしく願います。

■うっちい散歩「アールブリュット立川 2025」(11月7日)

立川では市民、行政、企業、障害のある人たちが協力してアールブリュット展を開催することを通じ、障害のある人もない人もともに生きる社会の実現につなげる活動をしています。今回は地域の学習館に加え、新たに多摩信用金庫の地域貢献スペースで行われた展示の取材に行ってきました。

実行委員さんに聞きました！

Q.なぜ今年是多摩信用金庫の地域貢献スペースでも展示をしたんですか？

A. 約2か月間、朝8時～夜9時まで長い期間、多くの人に見てもらいたいと思い展示しました。宣伝用のカードは10日でなくなったため、増刷するほど多くの人に来ていただいて嬉しいです。



(廣瀬 麻美)

●その他2025年4月から2025年9月までに行った企画●

- ・うっちい散歩「マオリンク」(5月9日)
- ・作業所取材「ワークショップモア」(6月13日)
- ・うっちい散歩「多摩中央公園周辺」(7月25日)

ふくし しょうがいしゃちいきじりつせいかつしえん じぎょう ねんごかみはんきじぎょうほうこく
福祉ホットライン〈障害者地域自立生活支援センター事業〉2025年度上半期事業報告

どうだんしえん けいこ
○相談支援の傾向

上半期の相談支援では、ご本人・ご家族、支援機関の支援者等、様々な方からご相談を頂きました。必要に応じて医療機関やヘルパー派遣事業所、計画相談事業所等様々な支援機関と連携しながら、電話やメールでの相談、Zoomを活用したオンラインでの相談、感染症対策を行いながらの対面での相談等、多様な形で対応しています。

身体障害のある方より入所している施設を出て1人暮らしをしたいのご相談を受け、居住相談窓口を紹介して住宅探しのサポートをしました。そして、制度を利用して住宅改修を行うために必要な手続きや自立生活開始後に必要になるサービス(介助派遣・訪問看護・往診・金銭管理支援など)についての情報提供を実施する等、計画相談担当者と連携しながら自立生活の開始に向けた支援を行いました。

また、視覚障害のある方より、音声読み上げ機能を使ってiPhoneを利用する中での困りごとやスクリーンリーダーを使つてのパソコン操作に関する事等、情報機器の利用に関するご相談を受け、電話やメールにて対応しました。

その他にも、体調の変化による入退院に関わるサポート、補装具や日常生活用具の給付をはじめとする各種障害福祉制度を利用するための支援、生活の中で感じる様々な気持ちを傾聴するピア・カウンセリング等、実施内容は多岐に渡りました。

たちかわしじりつしえんきょうぎかい
○立川市自立支援協議会

全体会：6月23日、11月21日

これまで各部会や全体会で議論や活動された中から、具体的な地域課題の抽出が行われ、その共有が図られました。やはり、その課題は多岐にわたり、対応策を練るには、その前提として人材不足の解消に向けた重要性を改めて感じました。

また、今年度9月より基幹相談支援センターが設置され、事務局機能の充実が図られました。全体会の議論の中で、当事者委員がより意見を発信しやすい場づくりとしてグループワークも試行されるなど、今後の臨機応変な協議会運営が期待できる場となりました。

ねんご たちかわししょうがいしゃしゅうかん かいさい
○2025年度 立川市障害者週間イベント開催

12月1日(月)～7日(日)の期間、障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としたイベントを開催しました。今年のテーマは「聞こえない、聞こえにくい人の世界を知ろう～コミュニケーションでバリアフリー」でした。市内の障害者団体や支援機関などが所属する実行委員会に参加して企画・準備を進め、今年も沢山の方にご来場頂きました。

- 12/1(月)～7(日)展示会(小学生絵画、福祉団体支援機関紹介パネル) @立川市役所 多目的プラザ
- 12/2(火)「社労士による障害者の年金と労働法に関する無料相談」 @立川市役所208会議室
- 12/2(火)～5(金)福祉作業所による物品販売会 @立川市役所 多目的プラザ
- 12/7(日)「デフリンピック報告会」 @立川市役所101会議室 (櫻井 未来・鈴木 徳子)

たちかわししょうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ ~ **上半期報告** ~

[1] 登録者の状況 (表参照)

上半期、新たに利用登録された方は32名(知的障害17名、精神障害15名)でした。そのうち発達障害の方は10名でした。利用経路としては、直接のご相談が1名、特別支援学校高等部等新卒者が18名、定着支援事業所から3名、職業訓練校から2名、その他福祉サービス事業所等から8名のご紹介がありました。

就職は27件でした。内訳は、事務系12名、店舗での品出しやバックヤード業務3名、福祉施設での介護補助およびマッサージ2名、造園・栽培2名、製造補助5名、清掃・運搬3名でした。また、特例子会社への就職は5件でした。

離職は5件ありました。離職理由は、会社都合1名、体調不良1名、転職希望3名でした。

登録者状況 (2025年9月30日)	
① 人数	333名
② 性別	男性 237名 女性 96名
③ 年齢	10代 24名 40代 58名
	20代 104名 50代 38名
	30代 96名 60代 13名
④ 障害	知的障害 225名 精神障害 87名 身体障害 21名
⑤ 状況	一般就労中 301名 就職準備等 32名 (福祉施設通所含む)

[2] 訓練等プログラム

準備訓練プログラムについては、市役所庁内実習で、4名の方が参加されました。

[3] 利用者交流プログラム

○ **夕食会**

知的障害の方を対象とした交流プログラムとして実施しています。引続き時間短縮は継続し、また物価高騰など諸般の事情により月1回へ変更し、合計10回で延べ200人(1回の平均参加人数20人)の方が参加されています。

○ **お楽しみ会**

知的障害の方を対象として9月に今年度第1回目を開催しました。

今回のテーマは“気をつけよう！スマホ・ケイタイの使い方”で、東京都消費生活センターから講師の先生をお招きし、34名の参加がありました。

日頃から消費生活センターへ寄せられる、押し活(課金)、出会い系、架空請求の相談や、ジム入会やエステ契約のトラブルの話など盛りだくさんでした。ロールプレイ(スマートスピーカーによる、知らないうちにサブスク契約)も大いに盛り上がりました。

難しい内容も多かったですが、メモをとるなど皆さん熱心に聞いていて、困ったら一人で悩まず誰かに相談すること、簡単にお金を稼ぐ方法はないこと、お金を大切に使う重要性を学ばれていました。

[4] 地域連携

○ **就労選択支援事業**

当センターもかかわっている立川市自立支援協議会就労専門部会では、2025年10月に始まった就労選択支援事業(障害のある方が、就労先や働き方について、よりよい選択ができるように支援するサービス)をテーマに、就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所、相談支援事業所などの関係機関と意見交換や勉強会を行い、地域での支援体制や連携の充実に向けた検討を進めています。

(川崎太郎)

私たちの動き (4/1~9/30)

() は担当部門名 CIL・HL・就労

※印はオンライン

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・りらく定例会(4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18)
- ・りらく病院訪問(4/24※, 5/22, 6/26, 7/24, 8/28, 9/25)
- ・ホワイトラテ定例会(4/24, 6/6, 7/25, 8/26, 9/26)※
- ・立川市災害ボランティアネット定例会(4/25※, 6/27※, 8/29※, 9/26)
- ・多摩療護園オンブズパーソン定例会(4/25, 5/23)
- ・多摩療護園利用者・職員懇談会(5/7)
- ・立川市人権学習事業実行委員会(5/13, 7/28)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
厚生産業委員会意見交換会(5/14)
- ・立川市障害者施策推進委員会(5/19)
- ・立川療護園はごろもの音苦情解決委員会(5/20, 7/24)
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(5/20, 8/27)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会例会(5/22, 9/12)
- ・立川市災害ボランティアネット総会(5/31)
- ・立川市地域公共交通活性化協議会(6/4)
- ・立川市障害を理由とする差別解消まちづくり協議会(6/23)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
地区別懇談会(6/25, 9/17)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
総会(8/6)
- ・たちせいれん(9/5)

(HL)

- ・立川市障害者週間実行委員会(4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 9/30)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議(4/17, 5/8, 6/12, 7/17, 8/7, 9/11)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業所合同会議(6/12, 8/7)
- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会(6/20, 9/12)
- ・立川市自立支援協議会全体会(6/23)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会運営会議(5/26)
- ・多摩職業リハビリテーションネットワーク情報交換会(6/20)
- ・立川市自立支援協議会全体会(6/23)
- ・立川市自立支援協議会就労専門部会(6/25, 9/24)
- ・ハローワーク立川主催雇用連絡会議(6/27)
- ・全都ネットワークの会(7/24)※
- ・多摩北部ブロック就労支援を考える会(7/25)※
- ・自立支援協議会就労専門部会主催
就労選択支援事業合同勉強会(8/28)※
- ・自立支援協議会就労専門部会主催
立川市の就労選択支援を考える会(9/3)
- ・多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会(9/26)※
- ・立川市くらし・しごとサポートセンター主催
就労支援機関連携会議(9/29)

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・ヘレナ・カルンストローム講演会(4/11)
- ・TIL総会(5/15)
- ・立川災害ボランティアネット
一次避難所防災備蓄倉庫整理見学(一小/一中)(6/21)

- ・JIL総会、全国セミナー(6/24~6/26)※
- ・TIL運営会議、内部学習会(7/24)※
- ・立川市災害ボランティアネット市民のための
体験型防災講座(8/2, 9/13)
- ・立川市障害者虐待防止センター
障害者虐待防止学習会(8/28)※

(HL)

- ・立川市手をつなぐ親の会総会(5/30)
- ・立川療護園はごろもの音訪問(拠点事業案内)(7/31)
- ・東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
(9/22 演習+オンデマンド)※

(就労)

- ・自立支援協議会就労専門部会主催
国分寺市共同受注見学(8/19)

【外部からの見学・研修】

(CIL)

- ・東京学芸大学(6/20)

【講師派遣】

(CIL)

- ・交通サポートマネージャー研修(6/12)
- ・ヒューマンケア協会視覚障害者対象
ピア・カウンセリング講座(7/31)

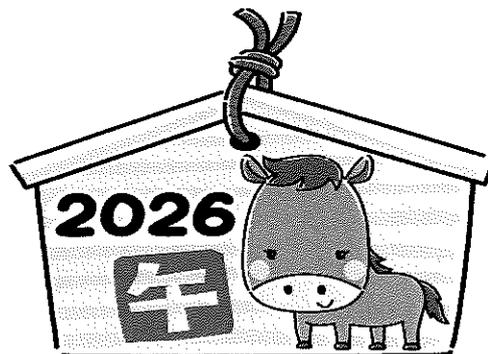
(HL)

- ・セブンイレブンジャパン合理的配慮研修(6/3)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・野上 和之 様 ・細金 君代 様 ・清田 昌 様
- ・杉本 雅彦 様 ・小林 正直 様 ・横井 知明 様
- ・鴨池 敏子 様 ・林 のり子 様 ・小黒 一希 様
- ・小林 恵一 様 ・齋藤 勝子 様 ・幕内 昌佐江様
- ・佐伯 幸子 様 ・石綿 和実 様 ・奥山 葉月 様
- 匿名 2名

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3134
URL: <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail: cilt@sh.rim.or.jp



発行人 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会(定価百円)
郵便番号 一五七〇〇七二 東京都世田谷区祖師谷三二二七二〇二